

こんにちは鎌夢会(かまむかい)です



ひなた慎吾 永田まりな 小野田やすなり 高橋浩司

こんにちは鎌夢会です！ 私たちは鎌倉の行財政改革を推し進めるため、鎌倉夢プロジェクトの会（鎌夢会）を結成し様々な活動をしております。そのひとつとして、鎌夢会チャンネルを開局し議会の様子など配信しております。皆様ぜひご視聴ください。

鎌倉夢プロジェクトの会 Web サイト

<http://kamamukaichannel.wix.com/kmc2013>

鎌夢会チャンネル

<https://www.youtube.com/user/kamamukaichannel>

(各委員会報告はこちらでご覧ください)



討議資料

【発行】
鎌倉夢プロジェクトの会
【お問い合わせ】
〒248-8686
鎌倉市御成町 18-10
[電話] 0467-23-3000
[内線] 2431

2014年2月議会報告

2月12日から3月19日まで会期予定の2月議会が6日間延会し、3月28日に閉会しました。今議会においては上程されていた「ごみの有料化に関わる条例案」が取り下げられました。

その理由として『議会審議の過程で「ごみの有料化をする具体的な品目が示されていないため審議ができない」との指摘があり、鎌倉市の顧問弁護士に確認したところ地方自治法に抵触をするという見解も示されました。そこで、一度議案を取り下げて諸問題を払拭し改めて100%問題のない議案を提案します。』

と松尾市長は【市長を視聴！ ささりん DO-GA】の中で述べております。

【市長を視聴！ ささりん DO-GA】はこちら⇒ ⇒ ⇒



議案取り下げに関する鎌夢会の考え方

「ごみの有料化に関わる条例案」については、有料化に賛成している我々会派としても法的根拠をしっかりとさせるべきと考え顧問弁護士への見解を問うことに賛成しました。そして三名の顧問弁護士の見解から問題があると指摘されていることを確認しました。

その後、予算委員会中の質疑において、松尾市長より一旦議案を取り下げ改めて提案する旨の答弁がありました。

次回の提案では、市長以下、庁内一致団結して、100%完璧な議案を出され、ごみ行政が前に進むことを期待します！

鎌倉市議会
議会報告会&意見聴取会が
5月10日(土)と14日(水)に
開催されます

教育こどもみらい常任委員会報告 担当高橋浩司

今回は、急務である待機児童対策についてご報告致します。

これまで鎌倉市は、保育園の待機児童対策を実施し、平成21年から4年間に516名の定員を拡大してきました。しかし、依然、待機児童は解消されず、本年は224人の子どもが却下されました。潜在的待機児童を含めると300人以上も待機していると言われています。平成26年度では、保育園みつばちの新園舎が9月にオープンし、30人の増員が見込める予定です。また、平成27年4月からは、フラワーセンターの一部をお借りして、新園が開設される予定で、50人の増員が見込める予定となっています。その後は、平成29年に江ノ電由比ガ浜駅前に津波避難ビルを兼ねて公立保育園を開設する予定であります。現在の材木座・稲瀬両保育園の園児が入所する予定となっており、あまり定員増は期待できない状況です。今後は、保育ママの増員を図り、速やかなる待機児童対策を講じることが求められます。因みにこれから入園を希望される方は、比較的余裕のある0才児から入園されることをお勧めします。

建設常任委員会報告 担当小野田やすなり



陳情第138号 県道金沢鎌倉線、ハイランド、久木踏切大町経由の新規循環バスの社会実験の再検討を求めることについての陳情が反対多数で否決されました。

この社会実験の循環ルートが上記の図になります。久木踏切を渡るというリスクはありますが、慢性的な渋滞に悩む鎌倉市民にとって新規ルートを模索することは必須であると考え、陳情の要旨である当該社会実験を再検討することには反対しました。

その結果、新規循環バスルートの社会実験が5月3日～5日まで行われます。この実験ではPTPSというバスの運行に合わせて信号の青時間を調整するよう信号制御するシステムの実験も同時に行われます。

これらの実験結果を踏まえ、鎌倉市内の渋滞が少しでも緩和されることを望みます。

総務常任委員会報告 担当：永田まりな

かまくら防災読本完成！

総務常任委員会において「かまくら防災読本」の完成が報告されました。この一冊の中には、ハザードマップや避難所マップ、地震への対応知識など、防災のいろはを始め、減災対策において家庭に一冊は持っているいただきたい充実した内容になっています。



こちらは、市内全戸配布、また鎌倉市のHPにも掲載されるとのこと。どうぞチェックしてください。

(仮称) 鎌倉歴史文化交流センター整備計画

扇ガ谷一丁目の超・超・超豪邸の寄付を受け、鎌倉の歴史的遺産・文化的遺産への理解を求める施設(仮称・鎌倉博物館)として整備する計画(今年度中に設計などは完了させ、今年度末には改修工事等進めていく予定)が進んでいます。鎌倉の文化財保護、文化発信拠点としての役割の観点からもこの計画に反対する立場ではありませんが、総務常任委員会や予算委員会でも指摘させていただいたように、広大な土地に豪華な建築物を利用する本計画には莫大な税金が投入されることを忘れず、採算性を考えての運営を望みます。

観光厚生常任委員会報告 担当：ひなた慎吾

健全化に向けて、今夏の海水浴場は??

昨年の鎌倉市海水浴場は風紀が乱れ、苦情や犯罪件数が大幅に増加しました。

●鎌倉市海水浴場の現状

	平成24年	平成25年
市への苦情件数	10件	31件
犯罪発生件数	7件	15件

市は現状を踏まえ、今夏は2本の柱を掲げ、健全化に向けた対応を検討しております。

1. 海の家新たな営業ルールの策定と進行管理
2. 海水浴客のマナーアップを推進する条例制定

鎌倉市海水浴場の健全化

検索

「クラブ化」形態の営業の禁止、イベントの事前審査や音量基準など、ルールとして定めるとのことですが、このルールをいかに守らせるか。この視点が大事です。強制力をしっかりと持たせて実施しなければ、極端な話、意味がなくなってしまいます。

厳しいルールも必要かもしれませんが、少なくとも決めたルールは必ず守られるように、注視してまいります。